

【Kトラワールドシリーズ2026】＋【GTCP トールワゴン選手権2026】

昨年度からの変更点は**赤色**で記載しています。（開催概要は除く）

1) 開催概要

	開催場所	開催日	参加受付期間	競技形式	ドリフト練習 走行枠	お試し 走行枠	一般 走行会
第1戦	モーターランド鈴鹿 (三重県鈴鹿市)	5月17日 (日)	4月13日(月) ～4月27日(月)	サーキット トライアル	有り	有り ※	有り ※
第2戦	スポーツランド山梨 (山梨県韮崎市)	7月12日 (日)	6月15日(月) ～6月29日(月)	サーキット トライアル	有り	有り ※	有り ※
第3戦	スパ西浦モーターパーク (愛知県蒲郡市)	9月27日 (日)	8月31日(月) ～9月14日(月)	スプリント レース	なし	なし	なし
第4戦	名阪モーターランドCコース (奈良県山辺郡山添村)	11月15日 (日)	10月19日(月) ～11月2日(月)	サーキット トライアル	有り	なし	なし

- ・各戦でシリーズポイントが付き、4戦のうち3戦分のポイントを有効ポイントとしてシリーズ順位を付けます。(Kトラ／トールワゴンとも)
 - ・初めてサーキットを走る方やイベントの雰囲気を知りたい方のために、順位を付けずにご自身のペースで走行していただける「お試し走行枠」を第1、2戦に設けます。(一日2本の走行となり、計測器は付きませんが順位は付きません)
 - ・軽トラ／軽バン／トールワゴンでドリフト練習をしたい人のための「ドリフト練習枠」を第1、2、4戦に設けます。(ドリフト練習枠の参加車両も計測器を貼り付けてドリフトしながらタイム計測を行い該当クラスの順位を付けます)
 - ・軽乗用車や普通車で走行できる一般走行会を第1、2戦で併催します。参加できる車両は市販の軽乗用車・普通車になります。
- ※お試し走行枠と一般走行会の必要装備は、3点式以上のシートベルト、ヘルメット、グローブ、長袖長ズボン、運転に適した靴となります。
- ワールドシリーズとドリフト練習走行枠の参加車両は、シリーズ大会規定・安全規定・車両規定に従った仕様とさせていただきます。

2) 主催者、大会事務局、申込先、参加費振込先(※第4戦のみ主催者・申込先が異なりますのでご注意ください)

■第1戦から第3戦まで

株式会社GT CARプロデュース内「軽トラ走行会事務局」
〒438-0802 静岡県磐田市東原 567-1
TEL:0538-74-6667 FAX:0538-74-6668

■第4戦のみ

GTCP TIGER MONKEY 内「軽トラ走行会事務局」
〒572-0840 大阪府寝屋川市太秦桜が丘 33-23
TEL・FAX:072-391-1708

【参加費振込先】第1戦から第3戦まで
静岡銀行 磐田支店 普通 1202381
カ)ジーティーカープロデュース

【参加費振込先】第4戦のみ
枚方信用金庫 交野支店 普通 0408562
スエヨシ ヒデアキ

3) 申込方法

- ・別紙の申込用紙、または Google の申込フォーム(※)に必要事項を記入または入力し、申込期間内に走行会事務局まで郵送・FAX・メール・WEB 経由のいずれかで申し込みを行うこと。 ※GTCP Tiger Monkey 主催の第 4 戦では Google の申込フォームは使えません
- ・申込用紙郵送後または申込フォーム提出後、3 日以内に指定の銀行口座まで参加費を振り込むこと。
- ・申込用紙(申込フォーム)と参加費が揃った時点で正式受付となる。
- ・正式受付順で受け付けを行い、定員に達した時点で受付終了とする。定員オーバーとなった場合はキャンセル待ちとなる。
- ・キャンセルについては受理書発送までであれば、事務手数料 1,000 円を差し引いた差額を返金する。
受理書発送後からイベント前日までは 2,000 円を差し引いた差額を返金する。イベント当日のキャンセルは返金できない。

4) 開催コース、募集台数、参加費用など

第 4 戦のみ、午後半日は特別ルールでのイベントを行う予定です。特別ルールについては別途主催者(GTCP Tiger Monkey)より発表致します。

日程	開催場所	開催コース	募集台数	走行本数	参加費用 (税込み)	備 考
第 1 戦 5/17 (日)	モーターランド鈴鹿 (三重県鈴鹿市)	軽トラワールドシリーズ トールワゴン選手権	32 台	約 15 分×4 本	16,000 円 ※1	
		ドリフト練習走行枠	8 台	約 10 分×6 本	16,000 円 ※2	
		お試し走行枠	5 台	約 10 分×2 本	5,000 円	
		一般走行会	8 台	約 15 分×4 本	15,000 円	
第 2 戦 7/12 (日)	スポーツランド山梨 (山梨県韮崎市)	軽トラワールドシリーズ トールワゴン選手権	32 台	約 15 分×4 本	16,000 円 ※1	共済費込み
		ドリフト練習走行枠	8 台	約 10 分×6 本	16,000 円 ※2	
		お試し走行枠	5 台	約 10 分×2 本	5,000 円	
		一般走行会	8 台	約 15 分×4 本	15,000 円	
第 3 戦 9/27 (日)	スパ西浦 モーターパーク (愛知県蒲郡市)	軽トラワールドシリーズ トールワゴン選手	40 台	練習 10 分 予選 10 分 決勝 6 周	26,000 円	NA車とターボ車で 別々に決勝を行う ※3
第 4 戦 11/15 (日)	名阪モーターランド Cコース (奈良県山辺郡山添村)	軽トラワールドシリーズ ※4 トールワゴン選手権	32 台	約 15 分×4 本	16,000 円 ※1	入場料込み
		ドリフト練習枠	8 台	約 10 分×6 本	16,000 円 ※2	

全戦、全参加コースともお昼の弁当＆計測器付きです。

※1 1 名のドライバーが 2 台でエントリーする場合は、「1 名 2 台走行割り」で参加費用が 26,000 円(税込み、弁当は一つ)になります。

※2 グリップとドリフトの両走行枠にエントリーする人は、「セット割り」で参加費用が 26,000 円(税込み、弁当は一つ)になります。

※3 参加台数によってはNA車とターボ車が混走で決勝を行う可能性あり。

※4 第 4 戦のみ午後半日は特別ルールでのイベントを行う予定です。特別ルールについては主催者(GTCP Tiger Monkey)より別途発表致します。

5) クラス分け／参加できる車両の形状・車高

【軽トラワールドシリーズ】

- ・参加できる車両の形状・車高は下表の通りで、7つのクラスに分けてクラスごとに表彰を行ないます。
- ・ドリフト参加車両も計測器を搭載して走行し、その車両が該当するクラスの表彰対象となります。
- ・クラスごとに「改造範囲」や「使用出来るタイヤ」が異なるので、後述の車両規則を確認して下さい。

※第4戦のみ午後半日は特別ルールでのイベントを行う予定です。特別ルールについては主催者（GTCP Tiger Monkey）より発表致します。

	車両形状	吸気方式	ク ラ ス		参加できる 車両の車高	備 考
			略称	クラス名称		
①	軽トラ	NA	NL	NA ライトチューン	車高 160cm 以上 (ミゼットⅡ含む)	
②			NT	NA チューンド		
③			NS	NA スーパーチューンド		
④		ターボ	TS	ターボ スーパーチューンド		TT クラスは廃止
⑤	軽バン	ターボ	VTT	バン・ワゴン ターボ チューンド	車高 170cm 以上	
⑥	軽ワゴン		VTS	バン・ワゴン ターボ スーパーチューンド		
⑦	上記の いずれか	ターボ or NA	OP	オープン	上記の車高を満たす 車両	

車高はカタログの数値（ノーマルの状態）で判断します。

【GTCPトールワゴン選手権】

- ・参加できる車両は以下の1)または2)に該当する車です。

1)「1998 年(平成 10 年)10 月以降に製造された新安全衝突基準に適合した軽自動車(通称「新規格軽自動車」)で、新車時のカタログデータの全高が **154 cm 以上**の車両(車種の例: ワゴンR、ジムニー、ムーヴ、ネイキッド、N-ONE、プレオ、EKワゴン、トップBJ、などなど・・・)」

※車高の基準を満たしたEV車(アイミーブ)はオープンクラスで参戦可能

※全高 154cm 未満の車両は併催される一般走行会にエントリーして下さい(クラス分け・賞典はありません)

2)ジムニーシエラ

- ・クラス設定はNA車が「N1クラス」「N3クラス」、ターボ車が「TNクラス」と「TRクラス」、**ジムニーシエラが「J1クラス」となります。**これらのクラスに該当しない車両(電気自動車含む)は「オープンクラス」(章典対象外)となります。

- ・クラスごとに認められている「改造範囲」や「使用できるタイヤ」は、別紙の「GTCPトールワゴン選手権 車両規則」をご確認下さい。

【お試し走行枠／ドリフト練習走行枠】

参加できる車両は「軽トラワールドシリーズ」「GTCPトールワゴン選手権」に参加できる車両と同じです。

【一般走行会】

参加できる車両は市販の普通車または軽乗用車です。レース専用車両(フォーミュラカーなど)は参加できません。

6) シリーズポイント

各戦のクラス順位によって、以下のポイントが付きます。

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1 位	20 点	5 位	8 点	9 位	2 点
2 位	15 点	6 位	6 点	10 位	1 点
3 位	12 点	7 位	4 点		
4 位	10 点	8 位	3 点		

- ・全 4 戦のうち、3 戦のポイント合計してシリーズポイントとしシリーズ順位が決まります。(4 戦とも参加した人は高い得点 3 戦分の合計となります)
- ・合計が同ポイントの場合の順位は上位得点の回数の多い順に決定されます。上位得点の回数が同一である場合は、最終戦時に獲得したポイントが高い順によって決定し、それでも決まらない場合はカウントバック方式により最終戦の前戦時、前々戦時・・・に獲得したポイントが高い順によって決定します。
- ・軽トラドリフト走行会参加車両も計測器を積んでドリフトをしながらタイムを計測し、タイムトライアルの該当するクラスの順位が付きます。
注) シリーズ途中でクラス変更した場合は、ポイントは継続されません。シーズン途中で車両を変更しても、同じクラスであればポイントは継続されます。
注) 合計ポイントの同じ人が二人いた場合は、上位ポイントの多い順になります。上位ポイント回数が同じ場合は、最終戦時に獲得したポイントの高い順になります。
- ・平均参加台数が 1 大会辺り 1 台に満たないクラスはシリーズ表彰がありません。

7) 一般規則 (ナンバープレートの有無・使用燃料など)

「Kトラワールドシリーズ」の一般規則について以下に記します。

※ 「GTCP トールワゴン選手権」の規則については、「GTCP トールワゴン選手権2026 車両規則」をご覧ください。

項 目	① NL ② NT ⑤ VTT	③ NS ④ TS ⑥ VTS	⑦ OP
車検・ナンバープレートの有無	車検付きであること	車検・ナンバープレートの有無は問わない	同左
使用ガソリン	ガソリンスタンドで販売されているもの	同左	自由
NOS	使用禁止	同左	使用OK

8)使用できるタイヤ ○:使用可能 ×:使用できない

クラス タイヤのランク	① NL	② NT ⑤ VTT	③ NS ④ TS ⑥ VTS	⑧ OP
Sタイヤ	×	×	×	○
Aランクタイヤ（別表1参照）	×	×	○	○
Bランクタイヤ（別表1参照）	×	○	○	○
上記のいずれでもないタイヤ	○	○	○	○

別表1 「Sタイヤ、Aランクタイヤ、Bランクタイヤと定義するタイヤ銘柄一覧」

赤字は昨年度からの変更点

メーカー	Sタイヤ	Aランクタイヤ	Bランクタイヤ	左記のいずれでもない タイヤの一例
ブリヂストン (POTENZA)	RE-11A 2.0、RE-11S、 RE55S、RE540S、RE520S	RE-71RZ/71RS/71R RE11-A/11、RE-01R/01	Adrenarin RE003/RE004、REGNO	Playz
ヨコハマゴム (ADVAN)	A050、A049、A048、A039、 A038、A032、A021	AD09、AD08R、AD08、AD07、 AD06、A052	ADVAN FLEVA、HF TypeD	S.Drive
ダンロップ (FORMULA-R、DIREZZA)	03G、β 02、RSV98、02G、 D01J、D98J、D93J	Z3、Z2、Z1（いずれもスタースペ ックを含む）		RE MANS V+、DZ102
トーヨー (PROXES)	R888R、R888、R881、08R、 FM9R	R1R	TR1	
ファルケン	該当無し	RT615K、RT615、RT215	該当無し	
ATR	該当無し	K SPORT	該当無し	
ヴィッツアー	該当無し	TEMPESTA ENZO *	MAX SPORT	FORMULA *
GOOD YEAR	該当無し	イーグル RS SPORTS	該当無し	EAGLE LS2000
クムホ	V710	V700	V720	HS51
シバタイヤ	R60	スポーツ/ハイグリップ、R23、 R31	コンフォート	
ゼスティノ	該当無し	07R*、07A、Z-REX	該当無し	

ダヴァンティ	該当無し	該当無し	PROTOURA RACE	DX240
ナンカン	AR-1	CR-S	NS-2R	NS-2、AS-2
ネクセン	該当無し	該当無し	SUR4、SUR4G	HD PLUS
ハイフライ	該当無し	該当無し	該当無し	HF805
ハンコック	Z221	該当無し	R-S3	
ファイナリスト	該当無し	該当無し	該当無し	595エボ
フェデラル	595RS-RR	595RS-R	該当無し	
マキシス	該当無し	VR-1 Victra	該当無し	MA-Z4S Victra、
ミシュラン	該当無し	該当無し	PILOT PRECEDA PP2	

- ・上記タイヤ以外でも主催者が判断した場合は使用禁止となる。
- ・新発売のタイヤで判断が付かない場合は必ず主催者まで問い合わせること。
- ・*印は様々な型番、名称を表す。

9) 安全規定

項 目	全クラス共通
オイルキャッチタンク	以下の車両はブローパイからオイルを吹くので、オイルキャッチタンクの装着を義務付ける。 1) DA(B)52T/V/W のターボ車、DA62T/V/W のターボ車、車種問わずターボ装完車、ボルトオンターボ装着車 2) ミニキャブトラック・バン・タウンボックス (U61T/V/W、U62T/V/W)、クリップトラック・バン・リオ (U71T/V/W、U72T/V/W)
4点式シートベルト	4点式以上のシートベルトの装着を義務付ける。(お試し走行枠の設定が有る場合、そのクラスは装着不要) ベルトの幅は問わない。(2 インチでも 3 インチでも良い) 固定はボルト (M8 以上の太さを推奨) を使用すること。タイラップなどでの固定は認めない。
灯火類	ヘッドライト、ウインカー、ブレーキ等の灯火類は、正常に点灯すること。(灯火類の交換、改造は自由) ヘッドライトのテーピングは各サーキットのローカルルールに従う。(受付時に参加者に通達する)

10)車両規則 (それぞれのクラスの、改造可能な範囲について)

■エンジン関係 (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK 、 ×:純正標準品のまま)

項 目	①NL	②NT	③NS	⑤VTT	④TS ⑥VTS	⑦OP
エンジン本体 ※1	×	×	○ 車体と同メーカーの軽自動車のエンジンであれば載せ替えOK	○ 車体と同メーカーの軽自動車のエンジンであれば載せ替えOK	○ 車体と同メーカーの軽自動車のエンジンであれば載せ替えOK	○ 車体と同メーカーの軽自動車のエンジンであれば載せ替えOK
排気量	×	×	○ 660cc 以下※2	○ 660cc 以下※2	○ 660cc 以下※2	○ 排気量アップOK
エンジンパーツ(カム、バルブスプリング、ポート加工、ピストン、コンロッド、クランク、ブロック、ガスケット、オイルパン、等々)	×	×	○ 排気量が変わらなければ OK	○ 排気量が変わらなければ OK	○ 排気量が変わらなければ OK	○ 交換自由 排気量がアップしてもよい
スロットル本体	×	×	○	○	○	○
スロットルコントローラ	○	○	○	○	○	○
キャブ(キャブ化)	×	×	○	○	○	○
インジェクター	×	×	○	○	○	○
EUC(エンジンコンピューター)	×	○	○	○	○	○
サブコン	×	○	○	○	○	○
フルコン	×	×	○	○	○	○
点火系	×	○	○	○	○	○
プラグ	○	○	○	○	○	○
過給機(ボルトオン含む)	スタンダードターボ ※3	チューントターボ ※4	自由

ブーストコントロール装置	…	…	…	○	○	○
過給圧	…	…	…	1.0kg/cm ² 以下	制限なし	制限なし
燃料ポンプ	×	×	○	○	○	○
燃料タンク	×	×	○	○	○	○
エンジンマウント本体	×	○	○	○	○	○
エンジンマウント位置	×	×	○	○	○	○

※1 軽自動車以外のエンジンを搭載した車両はどのクラスにも参加できない

※2 元の排気量が 550cc の車は 550cc 以下であること。

※3 そのエンジンに付いている純正ターボ(エブリイのエンジンならエブリイの純正ターボ)またはターボキットに付属の標準品のターボ。S/Cはプーリーの交換は自由だが規定の過給圧を守ること。

※4 上記※3よりも大きな純正流用ターボやアフターの大型ターボ。上記※3を加工してセンターハウジング等を拡大して風量アップしたものも含む。

■冷却系 (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK 、 ×:純正標準品のまま)

項 目	①NL	②NT	③NS	⑤VTT	④TS ⑥VTS	⑦OP
ラジエター、ファン、ホース類、シュラウド、導風板	○	○	○	○	○	○
サーモスタット	○	○	○	○	○	○
オイルクーラー	○	○	○	○	○	○

■駆動系 (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加、取外し OK 、 ×:純正標準品のまま)

項 目	①NL	②NT	③NS	⑤VTT	④TS ⑥VTS	⑦OP
ミッション(本体、ギヤ比)	×	×	○	○	○	○
ファイナル	×	○	○	○	○	○
LSD(純正品オプション含む)	×	○	○	○	○	○

溶接デフ	×	○	○	○	○	○
ミッションマウント本体	×	○	○	○	○	○
ミッションマウント位置	×	○	○	○	○	○
クラッチ	○	○	○	○	○	○
フライホイール	×	○	○	○	○	○
ドラシャ、ペラシャ	×	○	○	○	○	○

■排気系（○：交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK 、 ×：純正標準品のまま）

項 目	①NL	②NT	③NS	⑤VTT	④TS ⑥VTS	⑦OP
マフラー ※1 ※2	○	○	○	○	○	○
フロントパイプ	×	○	○	○	○	○
EXマニ	×	○	○	○	○	○
触媒 ※3	×	○	○	○	○	○

※1 各サーキットの基準音量を越えると走行中止を言い渡されることがあるので注意すること。

※2 マフラーは途中でカットしたり、途中で取り外すことは禁止され、触媒位置から出口方向に1m以上の長さが有ること。

※3 ○印のクラスはサーキット走行時に触媒を外して走行してもよいが、公道走行時は道路運送車両法を遵守するよう注意すること。

■吸気系（○：交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK 、 ×：純正標準品のまま）

項 目	①NL	②NT	③NS	⑤VTT	④TS ⑥VTS	⑦OP
エアクリナー（BOX、フィルタ）	○	○	○	○	○	○
その他吸気系パーツ	×	○	○	○	○	○

■サスペンション（○：交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK 、 ×：純正標準品のまま）

項 目	①NL	②NT	③NS	⑤VTT	④TS ⑥VTS	⑦OP
ショック、スプリング、アッパーマウント、シャックル、ハブボルト	○	○	○	○	○	○
スタビライザー	○	○	○	○	○	○
アーム、メンバー、アクスル	×	○	○	○	○	○
ブッシュ（硬度強化）	×	○	○	○	○	○
ブッシュ（ピロ化）	×	×	○	○	○	○
トラクションダンパー類	○	○	○	○	○	○

■ブレーキ（○：交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK 、 ×：純正標準品のまま）

項 目	①NL	②NT	③NS	⑤VTT	④TS ⑥VTS	⑦OP
パッド、シュー、ブレーキホース	○	○	○	○	○	○
その他ブレーキパーツ	×	○	○	○	○	○

■補強（○：交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK 、 ×：純正標準品のまま）

項 目	①NL	②NT	③NS	⑤VTT	④TS ⑥VTS	⑦OP
補強パーツ（ボルトオン）	○	○	○	○	○	○
補強パーツ（溶接止め）	×	×	○	○	○	○

■外装（○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK 、 ×:純正標準品のまま）

項 目	①NL	②NT	③NS	⑤VTT	④TS ⑥VTS	⑦OP
外装パーツ	○	○	○	○	○	○
オーバーフェンダー ※1	×	○	○	○	○	○
荷台本体 ※2	×	×	×	×	×	○
荷台あおり(バタ板)取外し※3	×	○	○	○	○	○
フロントガラス ※4	×	×	×	×	×	×
ドア本体、ドア・背面ガラス	×	×	○	○	○	○

※1 NLクラスはオーバーフェンダーの装着が禁止されるが、10mm 以内のラバーフェンダーの装着は認められる。タイヤ&ホイールは(ラバー)フェンダーからはみ出してはならない。

NL以外のクラスはオーバーフェンダーの装着が認められる。サーキットでタイヤを交換するのであればタイヤが(オーバー)フェンダーからはみ出すことは容認される。(サーキット往復時に一般公道を走行する場合はタイヤがはみ出さないよう注意すること)。また後述の「タイヤ外側～外側間の寸法規定」は守らなければならない。

※2 部品取り付けのための穴あけ加工はOK。荷台本体の取外しは禁止。(OPクラスのみ取外しOK)

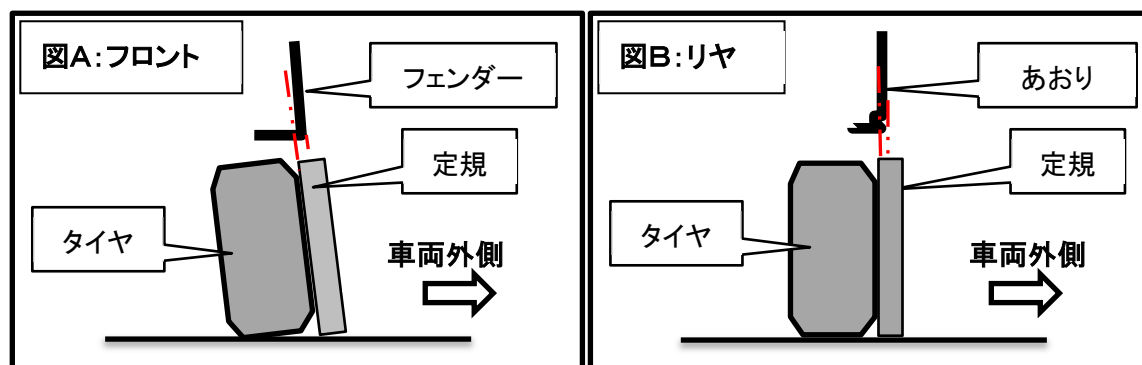
※3 NL クラスは、走行時に荷台あおり(バタ板)を付けたまま走行すること。あおり本体の軽量化加工はOKだが、あおりとしての機能が残っていること。

※4 アクリルやポリカーボネートといった樹脂素材への変更は禁止。純正相当品のガラス素材の社外品への交換装着は問題ない。

■タイヤ、ホイール（○：交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK 、 ×：純正標準品のまま）

項 目	①NL	②NT	③NS	⑤VTT	④TS ⑥VTS	⑦OP
タイヤ	・使用できるタイヤ銘柄については、前述の大会規則の「使用できるタイヤ」の項目を参照。 ・タイヤサイズは次項の「タイヤ幅」を守れば自由。ただし「タイヤ外側～外側間の寸法」は守ること。 ・NLクラスはサーキット走行時の（ラバー）フェンダーからのタイヤのはみ出しを禁止する※1。それ以外のクラスは、サーキット走行時のタイヤのはみ出しについては問わないが、公道走行時は道路運送車両法を遵守するよう注意すること。					
タイヤ幅	165 まで	165 まで	175 まで	165 まで	175 まで	自由
タイヤ外側～外側間の寸法 （測り方は図Cを参照）	寸法規定は設けないが、純正フェンダーからタイヤがはみ出さないこと。 ※1	【旧規格車】 F: 1490mm R: 1420mm 【新規格車】 F: 1570mm R: 1500mm	【旧規格車】 F: 1550mm R: 1530mm 【新規格車】 F: 1630mm R: 1610mm	【旧規格車】 F: 1550mm R: 1530mm 【新規格車】 F: 1630mm R: 1610mm	【旧規格車】 F: 1550mm R: 1530mm 【新規格車】 F: 1630mm R: 1610mm	自由

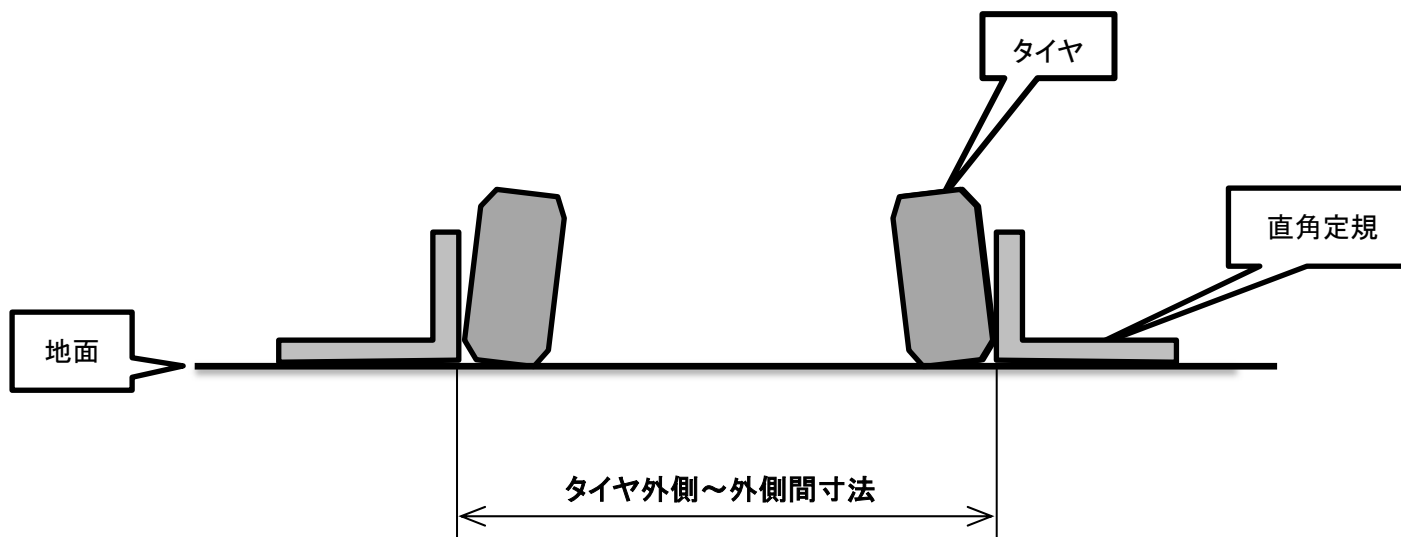
※1 はみ出しの判定は右図A、Bの様にタイヤ又はホイールの最も外になる面の延長線が、フェンダーまたはあおりの下部よりも内側に入っているかどうかで判断する。
 （タイヤ又はホイールの最外部に垂直に定規を当てた時、定規の上部がフェンダー内、またはあおりよりも内側に入っていればOKと見なす。タイヤ又はホイールの地面側はフェンダーより外側でもOK。）



タイヤ外側～外側間の寸法の測り方

図C:タイヤ外側～外側寸法の測り方

下図の様にタイヤの最も外側に直角定規を当て、その間の距離を測定する。



項 目	①NL	②NT	③NS	⑤VTT	④TS ⑥VTS	⑦OP
ホイール	・ホイールはサイズも含めて自由とするが、前項の「タイヤ外側～外側間の寸法」は守ること。 ・NLクラスはサーキット走行時のはみ出しを禁止する※2。それ以外のクラスは、サーキット走行時のホイールのはみ出しについては問わないが、公道走行時は道路運送車両法を遵守するよう注意すること。					
ホイールナット	○	○	○	○	○	○
スペーサー ※1	○	○	○	○	○	○

※1 5mm以上厚いものを入れる場合は、ロングハブボルトに変換するなどして、ボルトの掛かり代を確保するように努めること。

■内装（○：交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加、取外し OK 、 ×：純正標準品のまま）

項 目	①NL	②NT	③NS	⑤VTT	④TS ⑥VTS	⑦OP
シート	○	○	○	○	○	○
ドアトリム、ダッシュボード ※1	×	○	○	○	○	○
その他内装品	○	○	○	○	○	○
エアコン・ヒーター	○	○	○	○	○	○

※1 ドアトリムやダッシュボードを外す場合は、金属部をハードスポンジや樹脂板等で覆い、万一のクラッシュ時に負傷をしないような対策をとること。

■電子パーツ、追加メーター（○：交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK 、 ×：純正標準品のまま）

項 目	①NL	②NT	③NS	⑤VTT	④TS ⑥VTS	⑦OP
追加メーター	○	○	○	○	○	○
スロットルコントローラ	○	○	○	○	○	○
その他、エンジンの燃料、点火 に関係の無い電装パーツ ※1	○	○	○	○	○	○

※1 サブコンなどのエンジンコンピューターに関係する機器はエンジンの項目に掲載している。

■その他

・改造を加えずに調整出来るもの（トーイン、車高調の車高、ショックの減衰ダイヤル、調整式ピロアッパーのキャンバー角、空気圧 等々）については、調整は自由である。

・オイル類、ブレーキフルード、LLC等の油脂・液体類は自由。

【第1戦～第3戦 お問い合わせ／お申し込み先】
株式会社GT CARプロデュース内「軽トラ走行会事務局」
〒438-0802 静岡県磐田市東原 567-1
TEL:0538-74-6667 FAX:0538-74-6668
営業時間：平日 9 時～18 時 E-mail : info01@gt-produce.com

【第4戦のみ お問い合わせ／お申し込み先】
GT CAR プロデュース TIGER MONKEY 内「軽トラ走行会事務局」
〒572-0840 大阪府寝屋川市太秦桜が丘 33-23
TEL・FAX:072-391-1708
営業時間：月曜除く 10 時～18 時（不定休有り）